

天文台であるとか、今でこそ全国にある程度設置され、形そのものは児童科学館とかのプラネタリウムとかで見られることがあるけれど、球体で銀色に輝き、光を反射する、半球体をさ、現実に見るというのはやっぱり非常に気持ちがいいというかさ、他にない光景だよね。ましてや天文台は周りは自然に囲まれた場所で、突然、視界が開けた丘の上にさ、半球体みたいなヤツが現れる。夕映えなんか反射すると、きっと乳白色に輝くんだろうね。UFOが不時着しているようで、周りの緑とのコントラストを、想像するだけでワクワクするね。そういう気持ちがすごく強い、見たいという気持ちが。そういうのを合わせて、自分の好きなイメージばかりを投入しました。



- 『遊星測候所はストレンジ,Nさんが毎回ニュースキーワードを視点に、主に書物、音楽、映画からそのイメージの消息を探查測候するという、独創的コラムでしたね。その豊かで自在なイメージの横溢はすでにストレンジ圏ともいうべき、ある種、統一感ある内宇宙を垣間見た気がします。連載振り返ってみて如何ですか？今だからこそ話せる話題とか。

とにかく、紙媒体でなく、未知の媒体ですので戸惑うばかりでした。自分がネットを持ってないのでなおさらでした。最初依頼があった時は、ニュース・アカデミア会員のためのウェブマガジンコラムだったわけですね。つまり、ニュースをある程度知っていて、かつネット環境もあるという、いわばコアな方々向けのコラム環境だった。これはやはり、あまり変なことは書けないんじゃないかと、書いちゃいましたけど。

#03か#04ぐらいで、フリーサイトになったんですね。そのあたりで感じたのは、顔も何も知らない、不特定多数の方々に向けて、なにか放つことのムズカシサですね。何故ならば、そもそも、特に何か強い思い入れなり、動機があり、他の方々に伝えたいことがあって、始めたわけでもなく。単なる流れで…。そんな強いメッセージなど、ないんだもの。

ましてや、自分はネット環境にない。カフェネブチェーンやシリウスフォーラムの刻々とした状況変化もなァ〜んにもわからない。そんな自分から見ると、ネット環境があり、かつニュースを知っている方などトテモ、トテモ、豊かで恵まれた方々であって、そういった方々に放つことなどなァ〜んにもナイと(笑)。

だって、何か知りたいことあったら、問題意識あったら、自分で調べられるじゃないですか、とりあえずの、取っ掛かりはすべて用意されているんだから。その気さえあれば、もう在野で独りで研究できる。凄いモンダと思う。僕のコラム程度のコンテンツ内容などすぐ調べられる。カルトで、コア。ディープで、オタクキーなサイトは星の数程あるのだろうし。ネットやってない僕がわざわざ、ここにコラムを書く必然性はそう、ないんじゃないかと。そんな風にも思えてね。

でも、一応OKしたのだから、責任もちたいし、#05までやらせて頂いた次第です。御蔭様で色々勉強になったことも多く、こういった機会を与えて頂いたことに感謝しています。有難うございました。